

## 全国初 美術館整備PFIにより老朽化した美術館を再整備(神奈川県)

### (1)事業概要

近代美術館本館(所在地:鎌倉市)は老朽化が進み、現代の美術館として機能面での不足をきたしていることから、本館と連携可能な三浦郡葉山町内の県有地に、展示・収蔵機能を充実させた、生涯学習時代にふさわしい機能を備えた美術館を整備することを目的とした事業である。

### 2)特徴・ポイント

本事業は、公立近代美術館において、初めて美術館にPFI手法が採用されたものである。神奈川県立近代美術館は、本館施設の老朽化、寄付による美術品の更なる増加による収蔵スペースの不足などから、新たな美術館スペースの必要性が指摘されていた。

支出額の平準化、コスト・工期の短縮、施設のライフサイクルコスト削減を目的として、同様の効果を持つリース方式の採用が検討されていたが、PFI法施行をきっかけとして、法的に明確な根拠を持つPFI手法を採用。

### 3)官民の役割分担

民間事業者が葉山新館を建設・所有し、葉山新館及び鎌倉館(本館及び別館)の維持管理を行うとともに、葉山新館の喫茶・レストランやミュージアムショップなど美術館に付帯する施設の運営や備品の整備等を行う。他方、公立美術館としての役割・意義から、県が引き続き一定の美術館業務を実施することになった。

設計については、県が実施設計まで行い、民間事業者にはVE提案を求めた。県として必要な部分については仕様を記載し、それ以外の部分については県学芸員を中心として、近代美術館の施設整備・運営事業に対するコンセプトを提示することにより、民間事業者からの創意工夫を求めた。

(出典)内閣府PFI推進室HP 事例調査資料より

### ■事業の主な内容

項目	内容
事業名	神奈川県立近代美術館新館(仮称)施設整備等事業
発注者	神奈川県
整備内容・規模	事業地:神奈川県鎌倉市(鎌倉館)、三浦郡葉山町(葉山館) 葉山館敷地面積:14,971.84㎡ 葉山館建物概要:地上2階地下1階、延床7,111.51㎡(構造体等を除く)
事業内容	官が設計、運営(展示の企画・作品収集・教育普及等)を実施。事業者は、VE提案、建設、維持管理、付帯事業(独立採算)。鎌倉本館・別館の業務は維持管理業務のみ。
事業方式	BOT方式、混合型(レストラン、ミュージアムショップ、駐車場は独立採算)
選定事業者	総合評価落札方式(7グループが応募) 舟艇事業者:伊藤忠商事美術館PFIグループ 構成企業:伊藤忠商事(株)(代表企業)、戸田建設(株)、(株)ハリマビシステム、センチュリー・リーシング・システム(株)、(株)ホテルオークラエンタープライズ
事業期間	約32年(建設2年、維持管理・運営30年)

### ■PFIによる財政負担額の縮減効果(単位:百万円)

項目	通常の方法 (PSC-LCC)	PFI手法 (PFI-LCC)	削減効果 (VFM)
財政負担額	9,603	6,882	2,721
指数(%)	100%	71.7%	28.3%